

## 環境に配慮した事業の実施調書

事業名	芦原青年の家建設工事	事業箇所	あわら市北潟地係	検討委員会開催年度	平成26年度	担当課	建築住宅課営繕室
事業期間	H25.6～H28.2	工事期間	H27.3～H28.2	事業状態	工事实施中	・	工事完了
環境配慮事項と環境影響の概要 (該当する環境配慮事項の具体的影響)			決定された環境配慮の措置内容 (左記の影響に対する措置内容)		左記に対する実施状況		
3 大気環境等への配慮 (1) 大気環境の保全  (2) 騒音・振動の防止  5 省資源・省エネルギーへの配慮 (1) 省資源・省エネルギーの推進  (2) 新エネルギーの導入  6 廃棄物の減量化と リサイクルの推進への配慮 (1) 再利用とグリーン購入の促進  (2) 廃棄物の適正処理の推進 7 歴史的・文化的環境への配慮 (1) 地域景観との調和  8 その他 (1) 県産材の活用			排ガス対策型の重機を使用  基礎杭の埋込工法を採用  LED照明、自然換気システム窓、トップランナー変圧器などを採用  ペレットボイラーの設置  砕石、アスファルト舗装に再生品を使用  廃棄物を適正処理  建物高さを抑え、周囲になじむ色を選定  福井県産スギ材を活用		排出ガス対策型建設機械を使用した。  予め杭打ち箇所には杭径程度の削孔を行い、削孔中に既成杭を建て込む埋込工法を採用し、低騒音・低振動を図った。  LED照明、トップランナー変圧器を採用した。 開口部を自然換気システム窓(自然風力換気窓)、複層ガラスにすることで、空調負荷の軽減を図った。 浴槽用として最大出力 200kW/h(172,000kcal/h)の木質ペレットボイラーを設置した。  再生砕石を使用した。(アスファルト舗装は無し)  産業廃棄物管理票により適正に管理した。  隣接するつどいの広場よりも 2.1m程度低い地盤面に建設することで建物高さを抑えた。 外壁を土や樹木を連想させるベージュ系色、切妻屋根部分を樹木の葉や湖面の色を連想させる緑青色とした。  体育館壁面、廊下の腰壁、フローリング等で使用した。		
添付図書	環境配慮実施状況の説明写真・資料等						

## 環境配慮事項説明

## 芦原青年の家建設工事

### 芦原青年の家 全景

建物高さを抑え、周囲になじむ色を選定した。  
(地域景観との調和)



### ペレットボイラーの設置 (新エネルギーの導入)

浴槽の給湯用に坂井森林組合が製造する木質ペレットをボイラー燃料として利用する。二酸化炭素の排出量を抑えるだけでなく、木材を利用することで森林整備の促進にも寄与する。



### 基礎杭に埋込工法を採用 (騒音・振動の防止)

予め杭打ち箇所には杭径程度の削孔を行い、削孔中に既成杭を建て込む埋込工法を採用した。杭頭をハンマーで打ち込む打撃工法より、はるかに低騒音・低振動で施工できた。



### 自然換気システム窓などを採用 (省資源・省エネルギーの推進)

#### ○自然換気システム窓

不規則な自然の風に反応し、建物に呼吸機能をもたらす新しい換気システム。無風時には開放状態で重力換気を行い、窓面が一樣に風速 3m/s 以上の風を受けると閉鎖を開始。室内に強風が入り込むことを防ぎ、良好な室内環境を維持しながら効果的な換気状態になる。

ファンを使うことなく自然換気が行われ、消費エネルギーの削減が可能になる。



#### ○OLED 照明



#### ○トッパーナー変圧器



#### ○複層ガラス



### 排ガス対策型の重機を使用 (大気環境の保全)

建設時に発生する排ガスを抑制するため、排ガス型の重機を使用した。

